
赤 潮 情 報(定期赤潮調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
 令和 5 年 1 1 月 9 日

鹿児島湾 赤潮情報 No.6

[1] 11月9日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

通常検鏡（調査定点①）でシャットネラ マリーナが1細胞/mL、濃縮検鏡（調査定点③、⑩）で同種が0.011細胞/mL確認されました。

また、珪藻類は定点④、⑤、⑧で多く、定点①、⑥、⑦、⑪でやや多く、他の定点はやや少ない～少ない状況でした。

(2) 海況

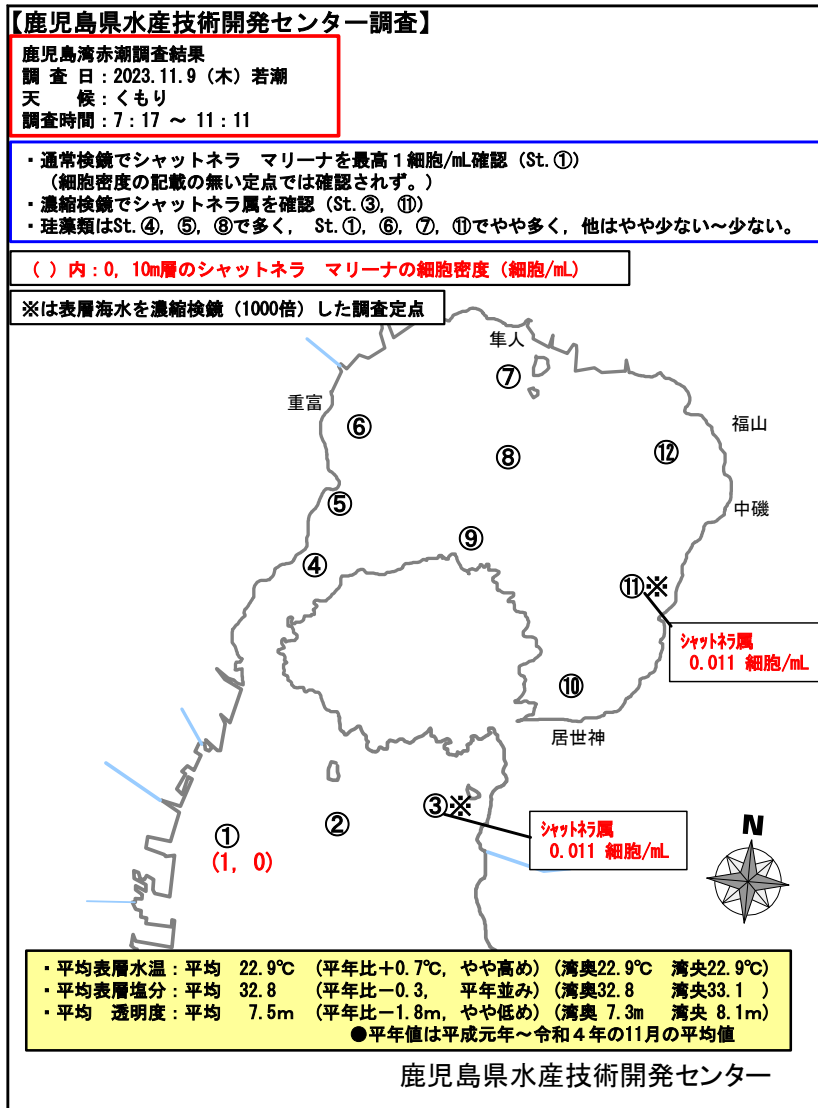
平年値と比べ表層水温は平年よりやや高め、湾奥部で22.5～23.1℃、湾中部で22.8～23.2℃、塩分は平年並みで32.3～33.6、透明度はやや低めで6.0～9.0mとなっています。

水温：平均 22.9℃ 湾奥部 22.9℃ 湾中部 22.9℃

塩分：平均 32.8 湾奥部 32.8 湾中部 33.1

透明度：平均 7.5m 湾奥部 7.3m 湾中部 8.1m

（平年値は平成元年～令和4年の11月の平均値）



[2] 今後の赤潮発生の予想

鹿児島湾では昨年度も秋季にシャットネラ マリーナの増殖が確認されたことから、しばらくは同種の増殖に注意が必要です。

なお、各漁協・養殖業者におかれましては、今後も有害赤潮プランクトンの早期発見のため、定期的な検鏡を継続するなど、監視をお願いします。

※シャットネラ マリーナの特徴

- ・適水温23～26℃
- ・適塩分30以下
- ・魚毒性が強く、致死細胞密度はブリ及びカンパチで、約2,000細胞/mL

（次回調査は12月中旬を予定）

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(PC用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

